

第二章

バイオマスタウン事業の内容

第2章 バイオマスタウン事業の内容

2-1 はじめに

本章ではバイオマス及び、バイオマスタウン事業の概要、バイオマスタウン事業に参加している市町村の紹介を行なう。

2-2 バイオマスとは¹⁾

生物資源の量 (bio-mass) を表す概念で、一般的には「再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源を除いたもの」をバイオマスと呼んでいる。

バイオマスの種類は多種多様であり、廃棄物系のもの、未利用のもの及び資源作物（エネルギーや製品の製造を目的に栽培される植物）がある。

廃棄物系のものとしては、廃棄される紙、家畜排せつ物・食品廃棄物・建設発生木材・製材工場残材・黒液（パルプ工場廃液）・下水汚泥・し尿汚泥 等があげられ、未利用のものとしては、稲藁・麦藁・籾殻・林地残材（間伐材、被害木等）等が、エネルギー作物としては、さとうきびやトウモロコシなどの糖質系作物や菜種などの油糧作物があげられる。

また、バイオエネルギーとは、バイオマスから得られるエネルギーのことを指し、バイオマスエネルギーとも呼ばれている。

2-3 バイオマスタウンの概要

バイオマスタウンとは、地域において、広く地域の関係者の連携の下で、バイオマスの発生から利用までが効率的なプロセスで結ばれた総合的利活用システムが構築され、安定的かつ適正なバイオマス利活用が行われているか、あるいは今後行われることが見込まれる市町村のことをいう¹⁾。

事業に参加する市町村が公表した“バイオマスタウン構想書”は、地域の中で、関係府省間、そして全国のバイオマス利活用を進める人々の間で、情報として共有される。

バイオマス・ニッポン総合戦略推進会議（以下、同会議）は平成 22 年を目処に、300 の市町村でのバイオマスタウンの実現を目指しており、同会議では全国の市町村に向けて、バイオマスタウンの構想を募集している¹⁾。

また、市町村がバイオマスタウン事業に参加することにより、国から補助金がでるというメリットがある。各市町村では交付された補助金を事業に関連する施設の整備、事業を進めるにあたって発生する人件費などに利用している。

バイオマスタウンを公表するに当たっては、構想書の内容が以下の 4 つの条件を満たすものであることが求められる¹⁾。

域内に賦存する廃棄物系バイオマスの 90%以上、または未利用バイオマスの 40%以上の活用に向け、総合的なバイオマス利活用を進めるものであること。

地域住民、関係団体、地域産業等の意見に配慮がなされ、計画熟度が高く、関係者が協力して安定的かつ適正なバイオマス利活用が進むものであること。

関係する法制度を遵守したものであること。

バイオマスの利活用において安全が確保されていること。

2 - 4 バイオマスタウン事業に参加する市町村

平成 19 年 12 月末までにバイオマスタウン構想書を 104 の市町村が発表している。以下が公表市町村の一覧である。

表 2-1 バイオマスタウン事業参加市町村の一覧

北海道	大滝村	東藻琴村	帯広市	富山県	立山町	富山市	
	留萌市	別海町	白老町	石川県	七尾市	加賀市	
	瀬棚町	鹿追町	津別町	福井県	美山町	和泉村	若狭町
	三笠市	滝川市	豊頃町	岐阜県	白川町		
青森県	中札内村	厚沢部町	東川町	愛知県	豊橋市		
	市浦村	青森市	藤崎町	三重県	伊賀市		
岩手県	鶴田町			滋賀県	米原市		
	紫波町	遠野市	花巻市	京都府	夜久野町	南丹市八木町地区	京丹後市
宮城県	九戸村			兵庫県	洲本市	加西市	宍粟市
秋田県	川崎町				豊岡市	南あわじ市	
山形県	小坂町	横手市		鳥取県	大山町		
	新庄市	立川町	藤島町	岡山県	真庭市	新見市	
福島県	鮭川村	村山市	西川町	広島県	庄原市	北広島市	
	富岡町	会津美里町	大玉村	徳島県	那賀町		
茨城県	茂木町	那須町		愛媛県	四国中央市	内子市	
群馬県	川場村	太田市		高知県	梶原町	春野町	
	山武町	白井市	旭市	福岡県	大木町	立花町	
千葉県	大多喜町	睦沢町		佐賀県	伊万里市		
東京都	あきる野市			長崎県	西海市	対馬市	
神奈川県	三浦市			熊本県	白水村	水俣市	
山梨県	早川町	山梨市	笛吹市	大分県	日田市		
長野県	三郷村	千曲市	長谷村	宮崎県	小林市	門川町	都農町
静岡県	湖西市			鹿児島県	南大隅町	いちき串木野市	志布志市
新潟県	中条町	上越市	柏崎市		曾於市		
	佐渡市			沖縄県	伊江島	うるま市	宮古島市

2 - 5 まとめ

以上がバイオマス及び、バイオマスタウン事業の概要である。以下の章では本章で示したことをもとに、述べていく。

2 - 6 参考 Web サイト

1) 農水省のバイオマス情報ヘッドクォーター

<http://www.biomass-hq.jp/biomassstown/index_map.html> , 平成 16 年